

# みんなの力でまちづくり

“つながりあうまち蒲郡”に向けて  
みんなで取り組む10の指針



令和4年10月

がまごおり協働まちづくり会議



## はじめに

蒲郡市のまちづくりにおいては、20年ほど前から“協働”という手法を取り入れてきました。

「がまごおり協働まちづくり会議」の前身である「がまごおり協働まちづくり推進委員会」では、平成17年3月に蒲郡市の協働のまちづくりの指針となる「がまごおり協働のまちづくりに向けて」を策定し、“協働”（「市民福祉向上のため、市民が自主的に取り組んでいる活動、また行政が主体的に取り組んでいる事業において、共有する領域については対等の立場で相互に力を合わせて目的のために協力し合う。」こと）施策の展開を図り、その後、平成27年3月には、施策推進における今後の課題について市長へ提言を行うなど、協働の推進を図って参りました。

当初の指針は、主に市民と行政の協働に主眼をおいてまとめましたが、時代の流れと共に市民と行政だけでなく、企業や学校、地域など多様な主体との協働が求められるようになったため、この度「がまごおり協働まちづくり指針策定ワーキング」を組織し、今後10年を見据えた“協働”を巡る現状の課題を整理し、新たな方策として、多様な主体の参画に主眼をおいた「みんなで取り組む10の指針」としてまとめました。

本指針は、協働を推進する多くの人に見ていただくものとして作成しております。行政だけでなく、市民や企業、学校、地域など、多様な主体が役割を分担し、協力、連携しながら社会課題の解決に向けた歩みを進めていただけることを期待します。

令和4年10月

がまごおり協働まちづくり会議会長 吉村輝彦

がまごおり協働まちづくり指針策定ワーキング座長 三矢勝司

# みんなの力でまちづくり 目次

## 第1章 楽しいことからつながり、 みんなの力でまちづくりをしよう

1	みんなの力でまちづくりってなあに	1
2	市民の力でまちづくり 相談窓口(まちづくり関連)をご紹介します、市民活動団体の活動をご紹介します	2
	【指針①】まちづくりに触れる機会をもっと身近にしよう	3
	～提案～ 私の取組、仲間の活動をもっと発信しよう	
3	楽しいことからつながろう 楽しくまちづくりをする人とつながるには	4
	【指針②】“楽しい”“やってみたい”想いをつなげる仕組みを作ろう	5
	～提案～ 他者からの“いいね!”他者への“いいね!”を広げよう	
	【指針③】地域の困りごと解決に向けて身近な人とのつながりを高めよう	6
	～提案～ 地域での活動を通じて、多様な世代による助け合いの輪を強化していこう	
	【指針④】がまごおり市民まちづくりセンターを利用しよう	7
	～提案～ 「まちセン」と各分野のコーディネーターが連携できる仕組みづくり	

## 第2章 多様な人の参画に向けて

	「若者」「女性」「外国籍市民」の参画促進	
1	若者の想いをカタチにしていこう 若者が活躍する団体をご紹介します	8
	【指針⑤】若者が好きになるまちにしよう	9
	～提案～ 成長して戻って来てねプロジェクト	
2	女性が参画しやすい工夫をしよう 女性が活躍する団体をご紹介します	10
	【指針⑥】女性の気軽な社会参加の入口を増やそう	11
	～提案～ オンデマンド(できる時に、できる範囲で、いつでも)でも社会参加できる仕組みづくり	
3	外国籍の市民もまちづくりの大事な担い手 地域で活躍する外国籍の市民をご紹介します	12
	【指針⑦】外国籍の市民と地域をつなごう	13
	～提案～ 地域コミュニティを外国人市民と共に作ろう デジタル社会への対応と多様な主体の参画促進	

## 第3章 持続可能なまちづくり活動へ

1 市民とともに歩むまちづくり	15
【指針⑧】仲間との振り返りの場が大事	15
～提案～ 振り返りの場づくりを促進する	
～提案～ 活動成果、取組プロセスの可視化を支援する仕組みづくり	
2 分野を超えるネットワークづくりへ	17
【指針⑨】全世代において自ら動く人を増やそう	17
～提案～ 人材育成のコンソーシアムを作ろう	
【指針⑩】他分野の動きを知って、協力できる場所を探そう	18
～提案～ 学び!伝え!つなげる!「社交の場(サロン・カフェ)」を作ろう	
まちづくり活動の支援制度があります	

## 終わりに

<参考資料>	22～28
--------	-------

### <体系説明>

#### 第1章 楽しいことからつながり、みんなの力でまちづくりをしよう

まちづくりの活動を知ってもらい、想いのある人をサポートしたり、つなげたりする方策を記載

#### 第2章 多様な人の参画に向けて

まちづくり活動に多様な人が参画しやすくするための方策を記載

#### 第3章 持続可能なまちづくり活動へ

活動をしている人がモチベーションを持って活動を続けられるための方策を記載

### <指針の読み方>

【指針】

指針の説明

指針を受けた提案

提案実現のための具体例

◇ ←提案実現に向けて委員ができることや委員からのコメント

# 第1章 楽しいことからつながり、

## みんなの力でまちづくりをしよう

### 1 みんなの力でまちづくりってなあに

「まちづくり」と聞いて、どんなことをイメージするでしょうか。

まちづくりは、公共的な建物等ハード面を整備することのほか、公共的な空間の利活用やルール作り、地域活性化への取組、地域のコミュニティづくりなど、自分たちが暮らす地域を良くするための様々な活動の総称です。

例えば、あなたが自身の部屋や家のレイアウトを自分で決めたいように、道路やまちなど公共的な空間である活動領域についても、みんなが安全に安心して暮らせるために、もっと暮らしやすくなるように、市民と行政、企業、学校、地域などが協力しながら、話し合ったり、行動に移したりして、まちづくりをしています。

あなたが、イベントへ参加したり、ママ友と一緒にやっている「楽しいこと」や「子どものためにやっていること」は、まちづくり活動の入口の一つです。個々のコミュニティに関わる中で、地域の課題に気づくことや、課題解決に向けた取組をしていることもあります。

そういった個々の活動の目的や課題を、自分たちの仲間だけでなく、地域の人や行政、企業、学校など、他の分野の人たちと一緒に共有し、考え、取組んでいくことを、「協働」や「共創」などという言葉で表現しています。

本章では、まちづくり活動のさらなる推進を目指し、まちづくりへ関わる人を増やすためにみんなの力でできることを考えました。

【協働】…目的や性格の異なる組織が、共通の社会的な目的を実現するために、それぞれの組織の力を合わせ、特色を活かしながら、対等の立場で、共に考え、共に協力して働くこと

【共創】…これまでの「協働」を基本としつつ、目標設定の段階から、市民、団体、企業、大学、地域、行政等が連携し、異なる視点や価値観のもと多方面から意見を出し合いながら解決策の検討を行い、実践的な取組を展開することにより、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていくこと

(出典：富山県高岡市共創の指針)

## 2 市民の力でまちづくり

「まちの課題を自分ごとと捉え、できることをできる範囲で取り組む。」人たちがつながり協力できたら、もっと暮らしやすい地域になることでしょう。

蒲郡市には、こういった取組をしている人たち(市民活動団体)が多くいらっしゃいます。がまごおり市民まちづくりセンター(通称「まちセン」)に登録している団体は、127団体(令和4年7月1日現在)あります。 P22 <参考資料1>

◎登録団体については、こちらのサイトからもご覧いただけます。

<http://www.ric.hi-ho.ne.jp/g-machicen/dantai.html>



### ワーキング委員が所属している相談窓口(まちづくり関連)をご紹介します

◎市民活動団体の紹介、まちづくり・団体の立上げ・運営についての相談

がまごおり市民まちづくりセンター <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/g-machicen/>

〒443-0056 蒲郡市神明町18番4号 勤労福祉会館内2階

TEL/FAX 0533-69-5380 MAIL [g-machicen@ric.hi-ho.ne.jp](mailto:g-machicen@ric.hi-ho.ne.jp)



◎福祉ボランティア、地域の支え合い、ボランティア保険についての相談

蒲郡市社会福祉協議会 <https://gamagori-shakyo.or.jp/>

〒443-0056 蒲郡市神明町18番4号 勤労福祉会館内

TEL 0533-69-3911(代表) FAX 0533-69-3993 MAIL [syafuku@nrc.gamagori.aichi.jp](mailto:syafuku@nrc.gamagori.aichi.jp)



◎地域活性化・創業等についての相談

蒲郡商工会議所 <https://www.gamagoricci.or.jp/>

〒443-8505 蒲郡市港町18番23号

TEL 0533-68-7171 MAIL [info@gamagoricci.or.jp](mailto:info@gamagoricci.or.jp)



◎読み聞かせボランティア、まちづくりについての本の相談

蒲郡市立図書館 <https://www.city.gamagori.lg.jp/site/toshokan/>

〒443-0041 蒲郡市宮成町1番1号

TEL 0533-69-3706 FAX 0533-69-0999



### 市民活動団体の活動をご紹介します

◎蒲郡山友会 P23 <参考資料2>

登録団体については、こちらのサイトからもご覧いただけます。

<http://gamagoorisannyuukai.web.fc2.com/>



◎小江まちカフェ P24 <参考資料3>

登録団体については、こちらのサイトからもご覧いただけます。

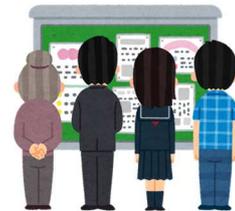
<https://ja-jp.facebook.com/koemachicafe/>



## 【指針①】まちづくりに触れる機会をもっと身近にしよう

一人でも多くの人にまちづくりの活動を知ってもらい、関心を持ってもらうことが、活動を応援することにつながり、まちづくりに関わる人の輪を広げることもつながります。

目にした人が“なんかいいね”“なんか共感する”“なんか楽しそう”と思ってもらえる機会や接点をどのように作り、どのように見せていくのが大事な鍵となります。



### ～提案～ 私の取組、仲間の活動をもっと発信しよう

- どんな思いで、どんなことに取り組んでいるのかなど、活動のことをもっと発信しよう。
- 図書館で定期的にブースを設けて活動内容や成果を紹介するのもいいね。
- スーパーや駅など市民が常に目にする場所のほか、観光名所での発信も効果的です。
- 高齢者や障がい者など、多様な方々に配慮した発信を考えよう。
- SNSなどを活用し、リアルタイムの情報を、広く、戦略的に発信しよう。
- 自分や仲間の活動を発信したいと思ってもらえることも必要なポイントです。
- デザインや見せ方にはこだわりを持って工夫をしよう。

- ◇ 若者にもできるボランティア情報を学校でも紹介します。
- ◇ 図書館、スーパー、駅などでブースを見かけたら、積極的にお邪魔します。
- ◇ 市などの公式 SNS をフォローし、積極的に拡散します。
- ◇ 図書館での成果紹介のパネル展、実現させたいですね。
- ◇ 活動日に取材に伺うなど、まちセンが情報発信のお手伝いをします。
- ◇ 団体向けのプレスリリースの書き方講座も開催していきたい。

### 3 楽しいことからつながろう

まちづくり活動は、誰か一人が楽しそうにやっていることに誰かが興味を持ち、その輪が広がり、同じ思いの人がつながっていくことから始まります。

そのつながりは、行政や企業、学校、地域など多様な主体を巻き込んで一緒に考え、一緒に取り組む「協働」や「共創」へと発展していきます。

#### 楽しくまちづくりをする人とつながるには

まずは、小さなことから始めよう！

##### STEP1 私のまちづくりを探そう

まちづくりは新しい出会いと新しい体験がたくさん。まちのことを調べたり、友達とまちのイベントを見に行きましょう。



- 親しい人に声をかけられたら、行事に参加してみる。
- 習い事が一緒の人が関わっているものを聞いて参加する。
- グループで講演会や行事に参加する。
- 公共施設やお店でイベントのチラシを探す。
- インターネット、新聞などで気になることを探す。
- 好きなことや、自分の得意なことを発揮できる場所を探す。

##### STEP2 楽しかったことを伝えよう

なんとなく「私のまちづくり」が見えてきたら、楽しかったことや大切だと感じたものには、周りの人や主催者の人に感想を SNS など直接伝えよう。

まちづくりは気持ちを伝えることがとても大事。話したり聞いたり、会話を楽しんで、自分の気持ちを伝えると誘われやすくなるよ。

話を聞いて、もしもやってみたいと思ったら、その気持ちを大切に。やってみたいを伝えよう。また、巻き込まれるのも、ときには偶然の産物として受け止めよう。

##### STEP3 まちづくりをやってみよう

はじめのまちづくり活動は、楽しいだけでなく、大変なこともあるかもしれないけど、自分のできること、まちと私とのつながりが増えている証拠。がんばってみよう！

まちづくりを楽しくできているのは自分とみんなのおかげ。好きなことを一緒に楽しく話せる仲間がいるから楽しくできるもの。

まちづくりをすると、たくさんのお会いがあって、たくさんの人に声をかけられるようになる。その出会いがまた新しい楽しさを連れてきてくれる…

まちづくりの楽しさを実感しよう!!

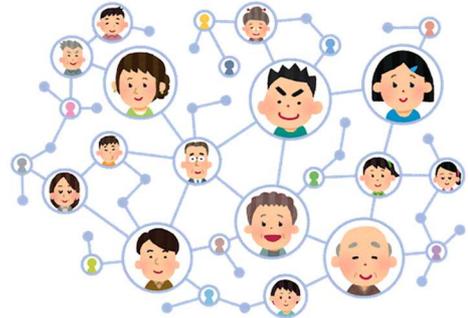
## 【指針②】

### “楽しい” “やってみたい” 想いをつなげる仕組みを作ろう

楽しい想いや活動を発信し、やってみたいと思っている人が受信でき、つながるきっかけとなる機会があれば、活動の輪が広がります。

100人会議など柔らかな仕掛けにより、気楽に、緩やかに、つながる機会を作っていくことが大事です。

蒲郡で面白いことをしている人を見える化していくこともつながるきっかけになるのではないのでしょうか。(参考:「沼津人辞典」)



【100人会議】…街で働く100人を起点に人と人をゆるやかにつなぎ、都市のあり方や価値の再発見を目的とするコミュニティ



～提案～ 他者からの“いいね!” 他者への“いいね!”  
を広げよう

- 私の活動や想いに共感してくれる人とつながる仕組みを作ろう。
- つながるための仕組みや運用は、多様な主体で検討しよう。
- 気軽に、緩やかに、まちづくりに関わっている人が集まって意見交換できる場を作ろう。
- 団体やイベントの SNS 等と連携し、リアルタイムで参加を呼び掛けられるような仕組みなど、SNS や動画などの発信からつながりを持てるような工夫を考えよう。
- 身の丈で活動をされている方にも「いい取組だから発信しませんか?」などの声掛けをしよう。
- 若者議会と連携するなど、若い世代とつながろう。
- 「ありがとう」「助かった」「楽しかった」など、参加した方や地域の方の声を届けよう。
- 地域における人や場(場所や居場所など)の見える化を進めていこう。

- ◇ 気軽に書き込みができるツールを使って、情報の発信や参加した感想など投稿します。
- ◇ 口コミって意外と効果的かも。機会を見つけて気軽におしゃべりしましょう。
- ◇ “やってみたい”を実現するために助成金の相談を受け付けています。
- ◇ 企画づくりの場を提供していきたい。
- ◇ 「がまごおりじなる」では、蒲郡の魅力的な活動・場所・食・モノ・人・文化を認定しています。

## 【指針③】

### 地域の困りごと解決に向けて身近な人とのつながりを高めよう

地域でのカフェやマルシェ、雑貨屋さん、ヨガ活動をやっている人など、身近にいる気になる人に声をかけてみよう。

会話の中から、興味のあることに会ったり、困っていることの解決につながったり、地域との接点ができることもあります。地域の人に気軽に話ができるコミュニティづくりが必要です。



### ～提案～ 地域での活動を通じて、多様な世代による助け合いの輪を強化していこう

- 防災行事など、子どもから高齢者までが幅広く参加できる交流の場が効果的です。
- ジョギングパトロールやゴミ拾いイベントを通してなど、それぞれがやりやすい関わり方で地域の見守りに関わろう。
- 「地域福祉」や「包括的な支援体制整備事業」と連携し、困りごとの解決につなげるための多様なアプローチを考えよう。

【包括的な支援体制整備事業】…地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応することを目的とした、相談支援・参加支援事業・地域づくり事業を一体的に実施する重層的支援体制整備事業(社会福祉法第106条の4)

- ◇ 図書館にはレフェラルサービスというものがあります。「利用者からの情報の要求に対して、その分野の適切な専門家や専門機関に照会して情報を入手し、提供するサービス。また、そうした専門家や専門機関を利用者に紹介するサービス。」です。(図書館情報学用語辞典 第5版より)
- ◇ チラシの設置やミニ特集などでも専門機関をご紹介します。ぜひ、図書館を活用してください。
- ◇ 市内11公民館で月1回開催している「支え合いの地域づくり座談会」では、ちょっとした困りごとを地域の方々と共有し、お互いさまの支え合い活動を進めていくための話し合いをしています。ぜひ、参加してください。
- ◇ 地域の中にまちセン会報紙「がまっち」を設置する場所を増やしたい。

#### <まちセンでの事例>

地域の担い手を増やし育てるための講座「地域の中にテーマ型活動を」を開催しました。

地域の中に目的を持った(テーマ型)団体をつくることで地域課題に取り組んでみよう、地域の高齢者を支える活動をしている人と、地域の顔つなぎ活動をしている人、まちづくりの専門家の3人による話し合いを行いました。各地域で高齢者を支える活動をしたいと思っている人や、現役の総代さん、民生委員さんなど33名が参加され、3人の話を熱心に聞いていました。

皆さん悩みながら活動をされています。活動をしている中で生まれた「悩み・想い・つぶやき・情報」を、まちセンに届けてください。まちセンは皆さんと一緒に解決の道を探るお手伝いをしています。

## 【指針④】

### がまごおり市民まちづくりセンターを利用しよう

がまごおり市民まちづくりセンター（まちセン）では、まちづくり活動に係る様々な支援を行っています。

まちづくり活動における困りごとを対話により課題整理し、適切な人や組織へつなげる役割や、助成金等の申請サポートなど、まちづくり活動におけるサポーター役を担っています。

まちセンをもっと気軽に誰もが利用でき、さらに相談機能の拡充を図ることがまちづくり活動の推進につながります。



#### ～提案～ 「まちセン」と各分野のコーディネーターが連携できる仕組みづくり

- 「どこに相談したらよいかわからなくて困っている」「こんなことを相談していいの？」なども気軽に相談でき、的確に相談先へ連携できる「まちのコンシェルジュ窓口」へ「まちセン」の機能を強化しよう。
- まちセンのことをもっと市民に知ってもらおう。
- ほかの分野、多様な人との交流の場、情報交換の機会をたくさん作ろう。
- 各分野のコーディネーターを見える化できるといいね。
- 気楽に関われる機会を、柔らかく作っていきこう。

【コーディネーター】…ものごとを調整する役の人 【コンシェルジュ】…案内人

- ◇ まちセンカフェとかあったら参加したいです。協力店で月1回（例えば第〇曜日の〇時から）とかなら気軽に集まりやすいかも。こども食堂とコラボしても楽しそうです。ランチタイムにこども食堂、ティータイムにまちセンカフェとか。
- ◇ 社会福祉協議会は、地域福祉に関わる分野におけるコーディネーターです。
- ◇ 定期的なコーディネーターの情報交換会を提案していきたい。

#### <まちセンでのコーディネート事例>

地区総代、社会福祉協議会、商店街のつなぎ役をしました。

ゴミ拾いをきっかけに「地域内の支え合い・高齢者の活躍の場を創っていく」活動を地域の商店街を巻き込んだ形で実施したいとの相談を受け、地区総代・商店街振興組合・社会福祉協議会に声掛けし会合の場を調整しました。

まちセンでは、地域の人財が情報交換する機会により、互いの課題の押し付け合いにならない関係性を作っていくための支援をしています。

## 第2章 多様な人の参画に向けて

### 「若者」「女性」「外国籍市民」の参画促進

魅力あるまちづくりには、多様な人の参画が必要です。現状では、「若者」「女性」「外国籍市民」の参画に課題があるため、各カテゴリにおける課題と解決策を個別に検討しました。

#### 1 若者の想いをカタチにしていこう

まちづくりには、未来を担う若者の力が必要不可欠です。

気になっていることや夢中になっていることなど、若者の想いを応援しましょう。

若者議会などの若者を主体とした活動に対して、その想いを受け取り、活動につながるための支援や、地域社会が背中を押してあげることも必要です。

若者が活躍する団体には、例えば、以下のような団体があります。

#### 若者が活躍する団体をご紹介します

◎蒲郡若者議会運営委員会 P25 <参考資料4>

登録団体については、こちらのサイトからもご覧いただけます。

<https://gamawakagikai.com/>



◎G・Child P26 <参考資料5>



## 【指針⑤】

### 若者が好きになるまちにしよう

子どもの頃、学生の頃には、学校の行事やお祭り、地域のイベントなど、まちづくりや地域の人と関わる機会がありますが、大学進学や就職等で地元から離れる、忙しくなるなど環境が変わる中で、まちづくりや地域からも遠ざかってしまう傾向があります。

子どもたちが地域で楽しい体験や成功体験ができ、いずれ成長したときに安心して戻って来られるような地域づくりが必要です。



サケは川で生まれ、海へ出た後、産卵のために生まれた川に帰ってきます。そんな風に蒲郡にも帰ってきてほしい！



### ～提案～ 成長して戻って来てねプロジェクト

- 子どもを沢山褒めて、子どもの頃の楽しい思い出を増やしてあげよう。
- 子どもたち、若者にまちづくり活動を任せるなど、まちづくりに関わる機会を作ろう。
- 子どもたち、若者の「やってみたい」「やってみよう」を「人」「もの」「金」で応援しよう。
- まちづくりに関わる働ける場を見える化しよう。(参考:「まちづくりの仕事ガイドブック」⇒図書館2階“まちづくりコーナー”にあります!)
- 地元のイベント等に離れた場所からリモートで参加できることも大切です。  
【リモート】…複数の対象が離れている状態

- ◇ 若者が興味のあるまちのイベントや団体情報を提供します。
- ◇ 大学生の「やってみたい」という気持ちを必要な情報、人、もの、金などの資源につなげます。
- ◇ 図書館には多くの子どもさんが利用される児童室、中高生のみなさんが自習目的で利用される学生室があります。また、YA(ヤングアダルト)コーナーという10代の方向けの本のコーナーもあります。年代別にターゲットを絞って、チラシやポスターを設置することで効果的にイベントなどの周知に協力できます。
- ◇ 若者が参加しやすいような雰囲気を考えます。
- ◇ ボランティアに参加した高校生が爽やかに「僕のできることで人に喜んでもらえるなんて最高じゃないですか!」と言ってくれました。そんな体験ができる機会を作ります。

## 2 女性が参画しやすい工夫をしよう

---

まちづくり活動に関わっている女性は多くいます。一方で、子育て期は子どもの成長段階に応じた配慮が必要となるため、想いはあっても活動に参加できない、参加しづらい現状もあります。

女性が活躍する団体には、例えば、以下のような団体があります。

### 女性が活躍する団体をご紹介します

---

©NPO 法人 MANARU P27 <参考資料6>

登録団体については、こちらのサイトからもご覧いただけます。

<https://manaru.jimdosite.com/>



## 【指針⑥】

### 女性の気軽な社会参加の入口を増やそう

子育て期は子どもの年齢月によって、まちづくりへの関わり度合などが変わります。気軽に参加できる形態であることや、タイミングを計った社会参加の入口を設定していくなどの工夫が必要です。



～提案～ オンデマンド(できる時に、できる範囲で、いつでも)でも社会参加できる仕組みづくり

- 産後3か月～6か月はまだ赤ちゃんが動けないため、母親が社会から切り離されてしまう側面もあります。  
また、通園・通学期など、活動できる時間は限定されます。  
いつでも、どこでも、お手軽に始められる、参加できるまちづくり活動を沢山発信しましょう。
- 現場だけでなく、自宅などからオンラインで参加できることも大事なポイントです。
- イベントのリマインド通知等、SNSを利用した周知のほか、学校や公園でのつながりなど、人のネットワークを通じた情報発信は効果的です。  
【リマインド】…思い出させる、思い起こさせる
- 地域で活躍する女性が増えれば、気軽な社会参加にもつながります。  
現状では、地区総代に女性はいませんが、常会長には女性が12名(令和4年度)おられ、少しずつ増えてきています。  
男性の名前となっているも、実態として女性が活躍されている場合も多くあり、現に蒲郡を支えている女性たちが気軽に表舞台で活躍できる雰囲気づくりをしたいですね。

- ◇ 図書館は毎週金曜日の午前中に「あかちゃんタイム」をやっています。赤ちゃんとそのご家族の利用を図書館がサポートし、他の来館者のみなさまにも温かく見守っていただくという時間帯です。コロナ禍以前は多くの赤ちゃん連れのご家族で賑わいました。そういった方々が、まちづくり活動に出会う場のひとつとなる可能性もあると思います。
- ◇ 託児のお手伝いなどで、子育て中のパパママを応援できそうです。
- ◇ 子育て世代が感じているまちの違和感を自ら改善できるよう応援します。

### 3 外国籍の市民もまちづくりの大事な担い手

---

蒲郡市における外国籍の市民は総人口の約4%と10年前と比較し約1.5倍となっており、国籍や言語、習慣や文化が異なる外国人市民と日本人市民が、ともにお互いを認め合い尊重しながら活躍できる「多文化共生社会」を目指していく必要があります。

地域で活躍する外国籍の市民には、例えば、以下のような方々があります。

#### 地域で活躍する外国籍の市民をご紹介します

---

©フィリピン出身市民の方々 P28 <参考資料7>



## 【指針⑦】

### 外国籍の市民と地域をつなごう

外国籍の市民は同じ国籍の方々などと協力しながら日本での生活や言葉を学ぶ努力をされ、5年以上と長く蒲郡市に暮らしている方が大半です。

しかしながら、地域において日本人との関わる機会が少ないため、地域社会に溶け込みにくい側面もあります。



#### ～提案～ 地域コミュニティを外国人市民と共に作ろう

- 地域にコミュニティ通訳員を配置して、外国籍の市民が地域活動に参加しやすくしよう。
- 外国籍の市民の地域役員を作り、外国人コミュニティで活躍してもらおう。
- 外国籍の市民を雇用している企業にも協力をしてもらい、まちづくり活動への参加や日本文化の理解促進を図ろう。

【コミュニティ】…地域社会、共同体

- ◇ 留学生が日本の文化に親しみ、地域社会に溶け込めるようまちのイベントを紹介します。
- ◇ 留学生が日本語を学ぶ機会や情報を増やします。
- ◇ 図書館 2 階には「多文化コーナー」があります。日本語を母語としない人のための日本語習得の本や、外国語で書かれた日本の習慣・伝統・文化など、「多文化共生」のための資料を紹介するコーナーです。令和元年11月開設以来、まだまだ市民の皆様には十分浸透しているとは言えませんが、担当者は市内の日本語教室に出向いて資料をお届けするなど地道に PR を続けています。ぜひ、活用してください。
- ◇ 外国籍の方にも分かるように、やさしい日本語を使うようにします。

## デジタル社会への対応と多様な主体の参画促進

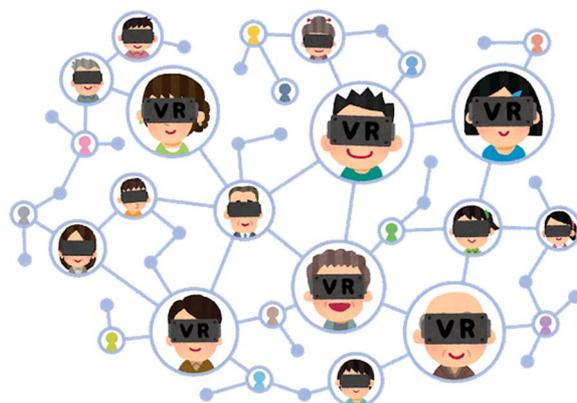
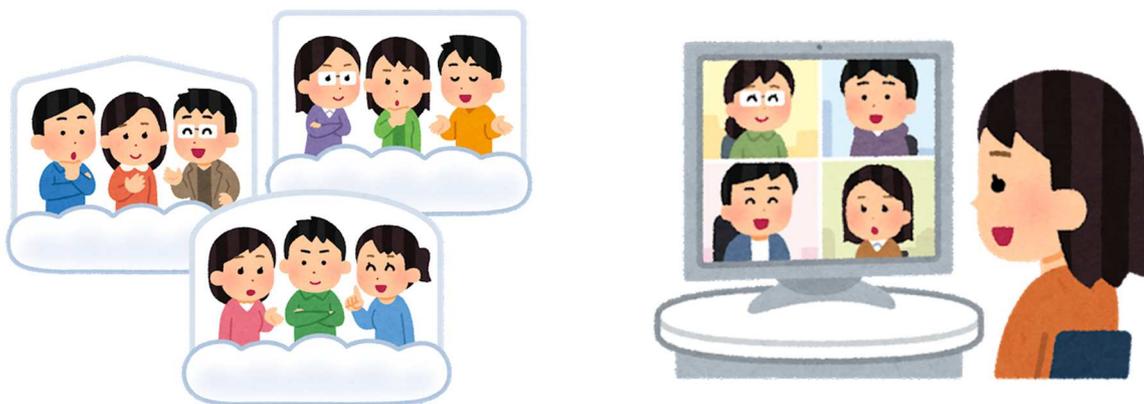
令和3年9月にはデジタル庁が発足し、令和4年6月には「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定されるなど、日本は、誰一人取り残されない人に優しいデジタル化社会「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」の実現に向けて動いています。

デジタル社会の実現に向けた基本的な施策として、「国民に対する行政サービスのデジタル化」「暮らしのデジタル化」「産業のデジタル化」「デジタル社会を支えるシステム・技術」「デジタル社会のライフスタイル・人材」「今後の推進体制」が進められていきます。

デジタル技術の活用により、SNS の利用やオンラインによる情報交換の場づくりなど、多様な主体が参加しやすくなると考えます。様々なアプリケーションやデジタルデータを利活用するなど、デジタル社会に対応した方策を取り入れ、デジタルトランスフォーメーションを実現していくことが求められます。

こうした社会環境の変化を踏まえ、従来、社会参加に難しさがあった「若者」「女性」「外国籍市民」など属性に応じた社会参加の促進策が必要です。

【デジタルトランスフォーメーション】…既存の価値観や枠組みをデジタル技術を活用し変革する



## 第3章 持続可能なまちづくり活動へ

### 1 市民とともに歩むまちづくり

まちづくりにおける市の最上位計画である蒲郡市総合計画では、第三次総合計画（H13.6 策定）の基本目標として「市民とともに歩むまちづくり」が提唱され、第五次総合計画（R3.6 策定）まで引き継がれています。

第五次総合計画では、「市民・事業者・行政が一体となり、人と人が支え合い、つながりあう」ことの大切さを基本理念に込め、多様な人・多様な主体がまちづくりに関わることにより、「豊かな自然 一人ひとりが輝き つながりあうまち ～君が愛する蒲郡～」の実現を目指しています。

平成18年度から始まった「市民企画公募まちづくり事業助成金」を活用した市民活動団体は令和3年度には100団体となり、現在でも多くの団体で活動が継続されていますが、一方で、モチベーション維持が難しい現状もあります。

楽しく活動を続けられ、モチベーションを保つための仕組みづくりが必要です。

【モチベーション】…動機づけ、やる気、意欲

#### 【指針⑧】

#### 仲間との振り返りの場が大事

活動の醍醐味は、活動後に行う仲間と振り返りをする場です。

仲間との交流の中から次へのアイデアや活力が湧いてきます。

初めて参加した仲間も、共に語り合うことでお互いの心を通わせ、活動の活性化につながります。





## ~提案~ 振り返りの場づくりを促進する

- 参加してくれた方に少しでも気持ちよく帰ってもらい、また参加してもらう。  
そのための振り返りやねぎらいは活動の継続に必要です。
- みんなでワイワイ話せる振り返りの場は、活動へのモチベーションとなります。
- 活動の評価の場として、振り返りの場を活用しよう。

- ◇ コロナ禍が終息した暁には、楽しく参加する！
- ◇ 助成金報告会では発表団体へのメッセージの記入をしてもらい、団体にフィードバックしています。また、まちセン会報誌「がまっち」には、団体紹介の振り返りのページを作っています。



## ~提案~ 活動成果、取組プロセスの可視化を支援する仕組みづくり

- タイムリーな情報を市民が常に目にする場所などで発信するときの支援や、SNSでの発信方法、ポスターやチラシの作り方などへの支援が必要です。
- 3年や5年の単位で活動の成果と取組のプロセスを可視化し、共有していくことにより、自身の活動を振り返ることができ、また、対外的に活動をPRすることにも利用できます。  
可視化に対する支援の仕組みを作り、活動の活性化と外への情報発信を強化しよう。
- 高齢の方や障がいのある方に寄り添い介護されている方々など、地道な活動に光を当て評価できる工夫をしよう。

【プロセス】…過程、工程

- ◇ 図書館で活動成果のパネル展など、ぜひ、開催したいです。
- ◇ 協働事業実施後には、相互評価による振り返りを行うことを提案していきたい。

## 2 分野を超えるネットワークづくりへ

個人や団体が活動を始め、発信し、受信した人と想いでつながり広がっていく。自分たちの仲間だけでなく、世代や分野を超えてつながり合えたら、もっとできることが広がり、社会課題の解決にもつながっていきます。

### 【指針⑨】

## 全世代において自ら動く人を増やそう

まちづくりの活動には、一人ひとりの人の力が非常に大切です。

誰かのために、地域のためにという想いを行動に移すことができる人、社会課題を自分ごととして考え、主体的に動ける人が増えるための仕掛けが必要です。

また一方で、主体的に動いている人へも、刺激を受けつつ成長できるための仕掛けが必要です。



### ~提案~ 人材育成のコンソーシアムを作ろう

- まちづくり人材を育成する多様な主体による共同組織を作り、気軽に参加できる学びの場を提供しよう。
- 「簡単にやめられる」「少しだけ参加できる」など、ゆるい関わりを大事にしよう。
- 意見交換の場は、若者、現役世代、退職後など世代を分けた場と多世代が集まる場を作るなど、参加しやすい工夫をしよう。
- 6人くらいの少人数の活動から仲間を増やしていこう。
- 地域と学校をつなげる役割を持った地域学校協働活動推進員とも連携していけるとよいですね。

【コンソーシアム】…共同事業体

- ◇ 井戸端会議のような、普段着で参加でき、ワイワイ話せて、無責任な発言もある程度許容される雰囲気での会議なら、知人を誘いやすいです。
- ◇ 社会教育として、社会課題を考える機会を作ります。

## 【指針⑩】

### 他分野の動きを知って、協力できるところを探そう

蒲郡市では、多くの市民活動団体がまちづくりに関わる活動をしており、まちセンに登録している団体だけでも127団体（R4.7時点）、他にも様々な分野でボランティア団体が活動しています。

各団体の代表などが社会課題について協議する場、つながる場、挑戦する場づくりをし、自分事として行動することが求められています。



### ～提案～ 学び!伝え!つなげる!「社交の場 (サロン・カフェ)」を作ろう

- 活動報告や失敗を共有し、今後の各分野の戦略を情報交換しよう。
- 活動の困りごとを共有し、アイデアを持ち寄ろう。
- 分野をまたぎ、グループなどを超えてつながる意識を持とう。
- 団体の新しい取組を応援、共有しよう。

- ◇ 学校も社交の場に参加し、学びや研究、ボランティア活動を通じて学生や教職員が地域づくりに参加します。
- ◇ 夏休みの休館日に図書館の駐車場を利用してこどもまつり(ごりやく市のような)みたいなことができれば楽しそうです。風船釣りや綿菓子の屋台とか出張水族館、キッチンカーを何台も集めたり。公共施設なのでなかなかハードル高そうですが・・・。
- ◇ まちづくりびと賀詞交歓会を開催し、まちに関わる人たちの出会いの場を創出します。
- ◇ いろいろな人のチャレンジを知る機会を作りたい。

## まちづくり活動の支援制度があります

蒲郡市には、令和4年10月現在、以下のまちづくり活動を支援する助成金制度があります。

今後、これまで述べてきた①～⑩の指針の具体化を促進する方向で助成金制度を改良、改善していくことが求められます。

### 蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金

市民活動団体が自主、自発的に行う、蒲郡市のまちづくりに役立つ公益性の高い事業に対し事業の経費が助成されます。

地域の多様な活動主体が公共の領域をともに担い合う「新しい公共」の考え方のもとに、蒲郡市に「新たな支え合い」の担い手を多数創出し、地域の公共サービスを豊かに展開していくことを目的とした制度です。

#### 【助成額】

はじめの一步部門：上限10万円

活動ステップアップ部門：上限100万円

平成18年度から令和3年度までの16年間で、助成金を利用した事業が100事業実施されています。

### 蒲郡市まちづくり活動チャレンジ助成金(令和4年6月新設)

若者が主体で取り組むまちづくり活動に対し事業の経費が助成されます。

若者の地域への興味・関心及びまちづくり活動への参画意識を高めるとともに、将来の地域の担い手の育成を図ることを目的とした制度です。

#### 【助成金】

上限15万円

あなたの“やってみたい”活動にチャレンジできます。

#### ◎相談先

がまごおり市民まちづくりセンター <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/g-machicen/>

〒443-0056 蒲郡市神明町18番4号 勤労福祉会館内2階

TEL/FAX 0533-69-5380 MAIL [g-machicen@ric.hi-ho.ne.jp](mailto:g-machicen@ric.hi-ho.ne.jp)



## 終わりに

ワーキングにおいては、現状における協働を踏まえ、今後 10 年を見据えた協働を巡る諸課題を考えることからスタートしました。本指針は、諸課題から重要な課題を整理し、「活動や成果の情報発信」「多様な人の参画」「持続可能な活動のための仕組みづくり」の3つの柱で解決策を議論しまとめたものです。

各指針を進めるにあたっては、行政やまちづくりセンターだけでなく、市民や企業、学校、地域など多様な人が共に協力して取り組んでいただきたいの思いから、各提案に対して委員ができることやコメントを付記しております。

なお、内容等は、社会変化に合わせて適時改定していくべきと考えております。併せて、デジタルトランスフォーメーションやWeb3.0(インターネットの利用者がデータを共有・管理しながら運用する分散型のウェブサービス)の利用など、デジタル等の技術革新の変化についても、学ぶ機会を作りながら対応を進めていただけますことを期待します。

最後に、がまごおりに愛着を持つ多くの人々の小さな取組が広がり、個々の活動がつながり合い、がまごおりのまちがより住みやすくなるための一助として本指針を活用いただけますと幸いです。

がまごおり協働まちづくり指針策定ワーキング 委員

氏名	所属	備考
◎ 三矢 勝司	NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 事業推進マネージャー	学識経験者
○ 金子 哲三	がまごおり市民まちづくりセンター 代表	中間支援組織
小林 直美	愛知工科大学工学部 准教授	学識経験者
津田 江美	NPO 法人 MANARU 代表理事	NPO
新井 麻利子	NPO 法人ブックパートナー 蒲郡市立図書館館長	指定管理者
水野 順也	有限会社水野印刷工芸 代表取締役	事業者
中野 香余	丸中株式会社 取締役	事業者
細井 政雄	蒲郡市総代連合会 会長	地域コミュニティ
浅井 伸也	蒲郡商工会議所 経営指導課長	中間支援組織
大須賀 めぐみ	蒲郡市社会福祉協議会 地域福祉係長	中間支援組織
オブザーバー 吉村 輝彦	日本福祉大学 国際福祉開発学部 教授	がまごおり 協働まちづくり会議 会長

◎・・・座長

○・・・副座長

----- 保健・医療・福祉 -----

いきいきサロン おたのしみ会  
 一般財団法人 蒲郡市母子寡婦福祉会  
 オレンジ友の会 (蒲郡精神障害者地域家族会)  
 音訳グループ「声」  
 蒲郡栄宝会  
 蒲郡市健康づくり食生活改善協議会  
 蒲郡市身体障害者福祉協会  
 蒲郡肢体不自由児者と父母の会  
 蒲郡市聴覚障害者福祉協会  
 蒲郡市手をつなぐ育成会  
 蒲郡盲人ガイドヘルプ 暁の星  
 蒲郡めだかの学校 (聞こえの支援)  
 クックラボ  
 健康がまごおり21推進グループ  
 健康づくりいっしょにやろまい会

劇団いきいき  
 小江じゃがいもの会  
 公益財団法人不老会 蒲郡支部  
 ささゆりの会1・2  
 社会福祉法人 はばたき  
 手話サークル「かざぐるま」  
 障がい者支援グループ いきいきビーンズ  
 障がい者支援センター  
 つくしんぼ  
 特定非営利活動法人 楽笑  
 ビラティス・サークル  
 ゆかいなアートスペース  
 要約筆記サークル「すてっぷ蒲郡」  
 ヨットエイドジャパン東海

----- 社会教育 -----

愛知工科大学 愛知工科大学自動車短期大学  
 蒲郡モラロシー・ボランティア  
 蒲郡 SL を守る会  
 楽しむ英会話  
 特定非営利活動法人 青少年自立援助センター北斗東  
 特定非営利活動法人若年者自殺予防・  
 対策支援ネットワーク  
 特定非営利活動法人 MANARU  
 特定非営利活動法人フックパートナー  
 NPO シープリーズ三河湾

----- 子どもの健全育成 -----

愛知子どもと本と文化の会 蒲郡支部  
 絵本と紙芝居の集い  
 おはなしすきだらう童話教室  
 おはなし宅急便  
 オレンジリボン蒲郡  
 がまごおり地魚普及実行委員会  
 蒲郡おやこ劇場  
 蒲郡市子ども連絡協議会  
 ガールスカウト愛知県第91団  
 子育てネットワークカー連絡会  
 コミュニティデザイン  
 どんぐり鉄道倶楽部  
 日本ボーイスカウト愛知連盟蒲郡第1団  
 FCママ  
 G♡Child  
 Home Education 学校へ行っていない子の会

----- 災害救助 -----

蒲郡市女性防火クラブ  
 防災塾〜知って蒲郡〜  
 三河から東北へ愛をどけようアツィエトナム

----- 男女共同参画社会 -----

蒲郡にじの会  
 託児ボランティア「ぼけっと」

----- 人権・平和 -----

蒲郡市生活学校

----- 地域安全 -----

蒲郡市更生保護女性会  
 豊田東海警備グループ企業ボランティアを推進する会

----- 経済活性 -----

蒲郡商工会議所

----- まちづくり -----

鹿島なかよし会  
 一般社団法人 蒲郡青年会議所  
 がまごおり地域猫の会  
 蒲郡げんき達  
 蒲郡商店街振興組合  
 蒲郡地域活性化プランコンテスト実行委員会  
 蒲郡の将来の公共交通を考える会  
 蒲郡若者議会運営委員会  
 蒲郡 Fan  
 小江まちカフェ  
 竹島てづくりプロジェクト実行委員会  
 竹島結び  
 中央ファーム  
 つなご縁実行委員会  
 特定非営利活動法人 オアシス  
 特定非営利活動法人 三河社中  
 三河大島で親子で遊ぶ会  
 未来塾  
 森の文化祭実行委員会  
 ゆうわ会  
 夢商人  
 夢追いかけてまちづくり同好会  
 MCT



----- 環境保全 -----

一般社団法人 海のプラゴミゼロをめざす会  
 春日桜会  
 蒲郡市花植えボランティア "マーガレットくらぶ"  
 がまごおり花フル会  
 環境クラブ  
 さがらの森もりクラブ  
 尺地川・蛍の会  
 橘丘里山緑地を愛する会

----- 文化・芸術・スポーツ -----

合気道の会 蒲郡  
 歌声ボランティア「ハーモニー」  
 オール三河トレーナーズクラブ  
 海岸通りスイーツコンサート実行委員会  
 蒲郡雅楽倶楽部  
 蒲郡健康太極拳小江公民館  
 蒲郡山友会  
 蒲郡市シニア吹奏楽団  
 蒲郡市吹奏楽団  
 蒲郡市ボウリング協会  
 蒲郡水墨画同好会「楽墨会」  
 蒲郡ぞう親子うたう会みかん  
 蒲郡バレーボール協会  
 この指とまれの会  
 コカリオアンサンブル ドルフィン  
 写真集団「喜」  
 社団法人 日本スポーツ吹矢協会 蒲郡賢支部  
 箏曲 三葉会  
 中日写真協会蒲郡支部  
 ちりめん洋裁教室  
 津軽三味線「福の会」  
 東海書物カルチャー  
 どうぶねこ座  
 特定非営利活動法人 音魂ネット  
 特定非営利活動法人 蒲郡アスリートコミュニケーションズ  
 平田桜火会  
 平田体育クラブ  
 朗読ボランティア しゅげむの会  
 三河スポーツクラブ  
 三書流(舞踊) 藤菊会  
 みんなのヨガ三河  
 和太鼓 海燕  
 和太鼓 響  
 Emu Wind Ensemble

※令和4年7月1日現在  
 127 団体がセンター登録  
 をされております。

## 蒲郡山友会

### <活動内容>

- 蒲郡を包み込み、三河湾を育む「蒲郡の山々」の登山道整備と市民への紹介
- 登山道整備と市民への紹介
- 市民の皆さんを募集して山歩きを開催

### <目的>

- 市民に「蒲郡の山々」の良さを知ってもらい、健康増進に役立てていただく
- 会員の親睦と健康促進
- 「本宮山」と同等の登山者数を目指す

### <目指す将来>

仮称「蒲郡里山トレイル」の実現

### <他>

- 五井山頂上登山者ポスト設置
- 登山者は眺望を絶賛
- 会の設立:2011年4月

### <会員の声>

蒲郡市の方なら誰もが知っている五井山に登った時、山頂から見る景色は、海と空と連なる里山と街並みの展望に感動したのを今でも覚えています。蒲郡山友会との出会いは、その時の五井山の標識と意見箱で知り入会しました。

蒲郡の自然の豊かさのひとつとして、五井山を目指して県内外からたくさんの人達に来て貰える様に、微力ながら登山道の整備をして、安全と健康にお役に立てればと思っています。

里山登山で「脱・寝たきり老人」



## 小江まちカフェ

小江まちカフェは地域の「顔つなぎ活動」を展開しています。

立ち上げは2016年5月。思った事を何でもやってみようと、総代や公民館、学校を巻き込みながら活動中です。

顔をつなぐ事で挨拶ができ、おせっかいな人を増やし、声をかけあえる町にしたい！いつでも、誰でも、ふらっと参加できる居場所事業として「がまなん畑」「がまなん図書室」「まちカフェ」があり、地域の大人と子どもが関わる事を仕掛けています。ほかにイベントとして、食事付きの夏休み宿題支援や春休みの五平餅作りと百人一首遊び、昼放課にも地域の方の力を借りた企画を展開中です。

土に触れ合う事や作物の収穫は楽しいですよ！

### <参加者の声>

参加した理由は…

「暇な時間を有効に使いたいから」「畑(土いじり)に興味があった」「みんなと一緒に来るから」「草がいっぱいの畑を何とかしたかった」「活動報告を読んだから」「娘のすすめ」

やってみた感想は…

「都合の良い日だけの参加が良い」「いろいろな人と話ができ、子ども達と触れ合えて楽しい」



## 蒲郡若者議会運営委員会

蒲郡若者議会は若い世代が活躍できる蒲郡にするため、16歳～29歳の若者議員を集め、彼らを取り巻く様々な問題を考え話し合うことで、若い世代の力を活かしたまちづくり政策を検討していく機関です。

運営委員会は、議員が若者の目線で真剣に「まち」について語り、発信していく機会を与える場づくりを行い、行政や様々な団体と協働して施策を考え、一緒に事業に取り組んでいます。

将来は蒲郡若者議会を経験した若者議員が中心となりこの議会を運営し、次代を担う多くの若い世代がまちづくりに参画してもらうことを目指しています。

### <参加者の声>

大好きな蒲郡のまちづくりに関わってみたいと思い若者議会に入り、同世代の仲間と蒲郡について一緒に考え、自分たちの想いを形にする貴重な経験ができました。

若者の未来のためにも若者が積極的にまちづくりに参加する必要があると感じ参加しました。

若者が蒲郡の未来について語れる場が必要と感じていました。

議員、メンターともに蒲郡の理想の未来について熱く語り合い、みんなで一歩を踏み出すことができます。

明日の蒲郡を創るのは私たち自身。未来をともに作る仲間が増やすため参加しました。



## G・Child

平成21年に発足した G♡Child(ジー・チャイルド)は蒲郡で暮らす学生や若者に地域社会と関わる場の提供及び企画運営をする団体です。

また、学生や若者が自発的に考え、行動できる環境づくりをし、各分野(環境・教育・伝統文化・異文化相互理解・地域活性化)と若者を関連づけて活動を行っています。

「テックスビジョン」「わくわくフェスティバル」「ダイヤモンドプリンセス号」「形原中学校出前授業」「環境チャレンジ」「福寿稲荷ごりやく市」「親子みかんジャム作り」「市政60周年行事」「蒲郡市男女共同参画委託事業」などに関わり地域参画を行っています。

活動を通して、学生時代過ごした蒲郡市で地元で恩返しできるチャンスをいただけています。

### <参加者の声>

G♡Child の一員として様々な活動に参加してきました。中でも3年前、多くの外国人が蒲郡市を訪れた際のおもてなし部隊は、男女、年齢、国籍も関係なくみんな笑顔で楽しんでいる光景が記憶に残り、忘れられない活動のひとつです。

活動に参加して「自分の想いを発信できる力」を養うことができました。社会に出てもコミュニケーションや企画力などに活動で得た経験が役立っています。

せっかく住むなら過ごしやすい方がいい。自分が感じている“あったらいいな”“やりたい”が実現できた方がいい。そのための課題解決を学ぶ機会もありました。

今、私は蒲郡市を離れていますが、地元に戻って来ると海のおいとか、飲食店の雰囲気とか、「蒲郡最高！」と思います。



## NPO 法人 MANARU

NPO 法人 MANARU は、子どもたちが将来自立して豊かに暮らしてほしいという母親たちの願いを込めて、ゲームやスマホに依存するのではなく「学び、未来を創る」体験を楽しんで欲しいと思いプログラミングを教える活動を始めました。小学校へ講座に行ったり、プログラミングコンテストやワークショップを主催したり、ロボットやソフトウェアを実際に使ったお仕事現場を見に行き体験してもらう活動をしています。

子どもたちのためにと未知の世界へ踏み込むポジティブな女性たちの交流の場ともなっています。

(注)女性が多いですが、男性会員も勿論います。

### <参加者の声>

パソコンを使ったことはありましたが、プログラミングの経験は全くなかったので、最初は不安でした。でも、同じように子育てをされている方々に教えてもらい、難しいことを覚えるのではなく、出張講座で出会う小学生の子供たちと一緒にプログラミングを学んでいるので、とても楽しいです。

また、色々な小学校に訪問したり、同じ活動をしている別の学校の保護者の方と知り合うことができることも貴重な体験となっています。



## フィリピン出身市民の方々

海岸沿いにごみがたくさん落ちていることが恥ずかしい。

また、そのごみを捨てたのがフィリピン人だと思われることもあるが、日本人にそういうイメージを持たれることが悲しい。

そのイメージを変えたくて、みんなで清掃活動しようとして Facebook で呼びかけたのは、活動発起人のヤンバオ・エレナさん。

令和2年には、ヤンバオ・エレナさんの呼びかけで、30人を超える外国籍市民が集まり、それぞれ、三谷地区、竹島地区、形原地区で清掃活動をしました。

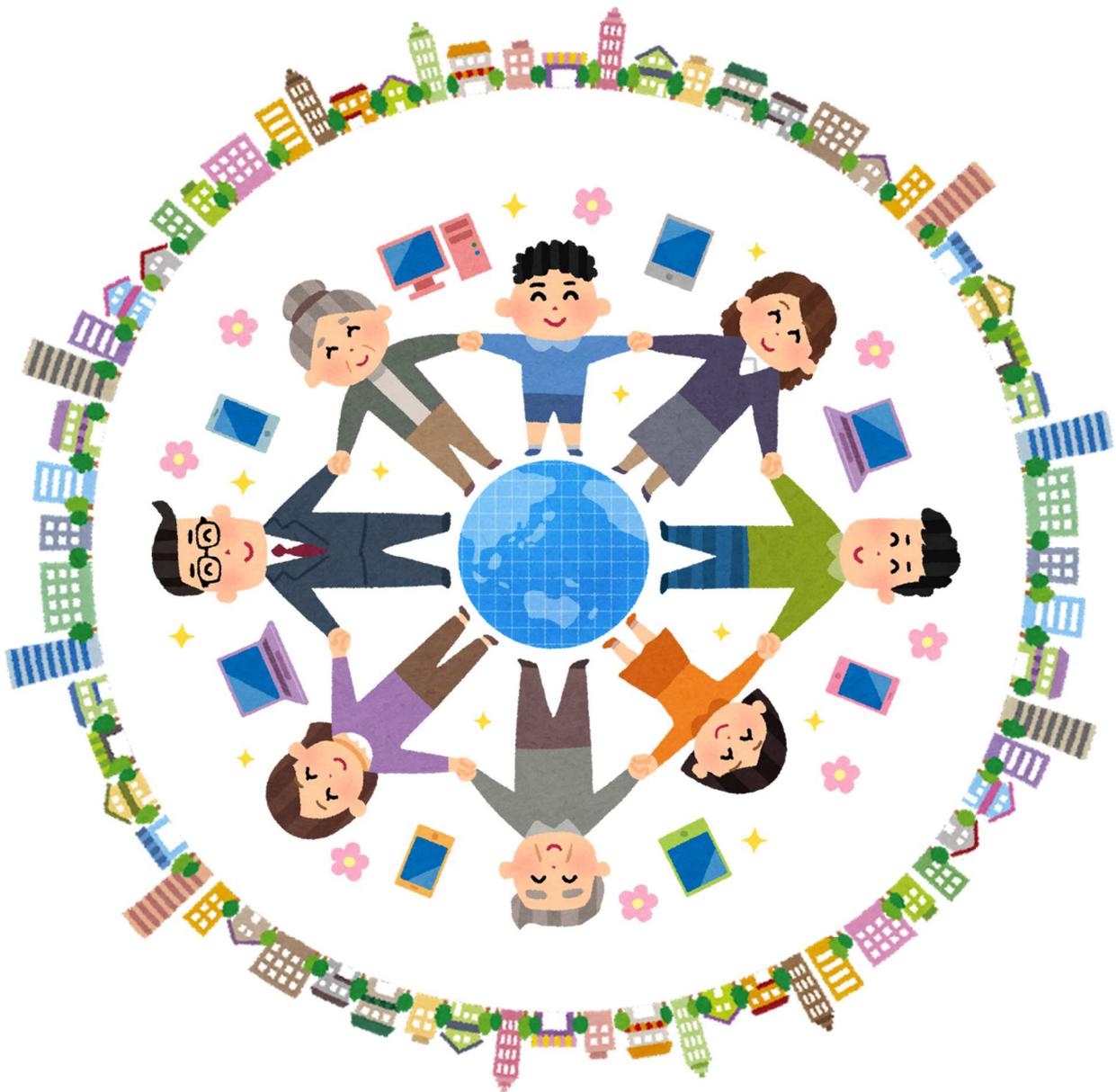


フィリピン人にも日本のルールに慣れて、フィリピンでの考え方を  
変えて行ってほしいと願っています。

お祭りなどを一緒に楽しんで、1つのコミュニティになれるとい  
いです。

私たちのカルチャーも知ってほしいし、お互いのカルチャーを知  
ってもっと仲良くなりたいです。

(フィリピン出身市民 ヤンバオ・エレナ)



発行：蒲郡市 がまごおり協働まちづくり会議  
蒲郡市 市民生活部 協働まちづくり課  
〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町17番1号  
TEL：0533-66-1179